

# 水産庁

プレスリリース

平成22年6月26日  
農林水産省

## 「第62回 国際捕鯨委員会 (IWC) 年次会合」の結果について

平成22年6月21日(月曜日)から6月25日(金曜日)まで、アガディール(モロッコ)において開催されました「第62回 国際捕鯨委員会 (IWC※)年次会合」の結果についてお知らせします。

### 1. 開催期間、場所

5月30日(日曜日)～6月20日(日曜日)科学委員会等  
6月21日(月曜日)～6月25日(金曜日)年次会合  
於: アガディール(モロッコ)  
※IWC: International Whaling Commission

### 2. 出席国

IWC加盟国88カ国のうち69カ国

### 3. 出席者

(農林水産省) 舟山康江農林水産大臣政務官、中前明IWC政府代表、  
町田勝弘水産庁長官、香川謙二水産庁漁場資源課長、森下丈二水産庁資源管理部参事官ほか  
(外務省) 柳谷俊範在モロッコ大使、高岡正人経済局参事官、青木豊経済局漁業室長ほか

### 4. 加盟国の状況

昨年の年次会合以降、ガーナ、ブルガリア、ドミニカ共和国が加盟し、本年の年次会合における加盟国は88カ国に増加しました。

### 5. 結果概要

#### (1)IWCの将来(議題3)

会合初日の議題採択後に会合を一時休会し、二日間にわたり小グループによる個別協議を実施しました。

しかしながら、メンバー国間の基本的な立場に隔たりがあり、IWCの将来に関するコンセンサス決定に至らなかった。このため、2011年の次回会合まで、熟考期間を設けることになりました。

我が国からは、科学に基づく議論を尊重すべき旨強調しつつ、全ての関係国が議長・副議長提案のアプローチにしたがってコンセンサス決定の実現に向け努力することを要請。他方、豪州、ラテンアメリカ諸国等は、事実上、同提案をベースに議論することを拒否しました。

#### (2)海上の安全(議題11)

我が国より、シーシェパード(SS)による我が国の鯨類捕獲調査船に対する妨害行為について、ビデオ等による状況説明を示しつつ、関係国が危険防止のための実効的な措置を講じるよう要請しました。

豪州、ニュージーランド、インド等がSSの妨害活動に対し非難を表明しました。

#### (3)先住民生存捕鯨(議題6)

デンマークが、従来から要求していたザトウクジラの新規の捕獲枠を提案しました。また、突如、米国がデンマークと共同提案の形で、デンマーク、米国、ロシア及びセントビンセントに対する捕獲枠について、2011年から2017年までの7年間の捕獲枠を提案してきました。

デンマーク提案は、若干の捕獲数削減を条件にEUが受入を表明しました。豪州、モナコ、ラテンアメリカ諸国は反対したが、最終的に合意を妨げることなく、採択されました。

米国の共同提案は、議長・副議長提案の修正案という性質のため、各国から手続的な懸念が表明され、米国側は説明のみ行い、提案を撤回しました。

#### (4)次回会合

開催を希望する国が、2010年9月1日までに事務局へ意思表示することとなり、希望国がない場合、事務局が開催することになりました(英国内)。

## 6. バイ会談

舟山政務官は、ニュージーランド、ロシア、モロッコ、セントキッツネイビス、米国、ノルウェー、アイスランド、豪州、韓国の代表と会合し、我が方の考えを申し入れました。

### — お問い合わせ先 —

資源管理部遠洋課  
担当者: 捕鯨班 森、高屋  
代表: 03-3502-8111 (内線6724)  
ダイヤルイン: 03-3502-2443  
FAX: 03-3591-5824

[ページトップへ](#)

Copyright:2007 Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

〒100-8907 東京都千代田区霞が関1-2-1 電話:03-3502-8111(代表)

**水産庁**